

第4回

錯視コンテスト

作品



概要：
日本基礎心理学会第31回大会の開催に合わせまして、第4回錯視コンテストを実施いたします。錯視をモチーフとした力作・珍作・大作を、学会員だけではなく一般の方からも広く募集いたします。今回の錯視コンテストの受賞作品の紹介および授賞式は2012年11月3日の第31回日本基礎心理学会における懇親会にて実施の予定です。トップ10の作品には、視覚刺激の「国立電子図書館」であるVisiome Platformに登録することをお手伝い致します。

応募条件：
日本基礎心理学会の会員の方、一般（非会員）の方どなたでも。なお、審査委員は応募できません（セカンドオプサー以下でも不可）。

※授賞式は学会大会内にて行われる可能性が大きいですが、まだ確定ではありません。非会員でも大会参加は可能です（大会参加費が必要となります）。
応募そのものには費用はかかりません。

応募方法：
・2012年9月16日（日）が締め切りです。
・作品はデジタル情報のみとし、電子メールにてこちら（2012illusion@gmail.com）までお送りください。
・応募の際には、氏名、所属、連絡先（メールアドレス）、作品のタイトルと解説（400文字程度、長くてよい）を明記した文書ファイルも添付するようにお願いします。
・通常のパーソナルコンピューターで再現可能であれば、錯聴や動画による作品もOKです。
・お一人につき3作品までの応募可とします。

審査方法：
・応募錯視作品の審査は学術面と表現面の「総合点方式」で行ないます。
・総合点とは各審査委員が各作品につき20点を満点として評価することであり、各審査委員から提出された得点（総合点）を合計し、合計得点が高い順に入賞者を決定致します。
・「学術面」はその作品に含まれる錯視や知覚効果の学問的意義を評価するものとし、「表現面」はその作品に含まれる錯視や知覚効果をいかにわかりやすく、あるいは美しく、あるいは楽しく表現しているかを評価するものとします。

審査委員： 北岡明佳（委員長）、蘆田宏、羽倉弘之、原島博、一川誠、椎名健、高島翠

<http://www.psy.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/sakkon/sakkon2012.html>